

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	関 係 局 長
11	小森こういちろう	自 民 党 市 議 団		

発言の要旨

<p>1 農業の推進について</p> <p>(1)新規就農について</p> <p>①新規就農に関する相談件数と新規就農者数</p> <p>②就農に至らなかった要因</p> <p>(2)就農準備資金と経営開始資金の内容・違い</p> <p>(3)就農準備資金の対象となる県内の研修機関等</p> <p>(4)新規就農者支援対策事業の主な内容と実績総額</p> <p>(5)農業担い手育成対策事業の主な内容と収入保険制度の加入状況</p> <p>(6)スマート農業について</p> <p>①スマート農業の導入件数</p> <p>②スマート農業の普及に向けた今後の取組</p> <p>(7)肥料等の高騰に対する対策</p> <p>2 鹿児島市中央卸売市場魚類市場の見学について</p> <p>(1)申請方法等</p> <p>(2)令和5年度の実績</p> <p>(3)課題</p> <p>(4)インバウンド等の観光客受入れ</p> <p>3 家事支援について</p> <p>(1)ファミリー・サポート・センター事業について</p> <p>①実績（各会員数、活動状況）</p> <p>②家事支援が少ない要因</p> <p>(2)多胎妊産婦サポーター事業の実績（利用者数、登録事業者数）</p> <p>(3)本市独自の家事支援に対する補助制度の必要性に対する見解</p> <p>4 本市のスポーツのできる公園について</p> <p>(1)公園の数</p> <p>(2)ナイター照明施設が設置されている公園の数</p> <p>(3)公園におけるナイター照明施設の利用実績</p> <p>(4)予約方法・集金方法</p> <p>(5)ナイター照明施設の設置による利用時間の拡大についての見解</p>
--

5 鹿児島市消防音楽隊について

- (1)設置の目的
- (2)直近の隊員の構成（消防職員・消防団員）
- (3)活動実績（令和6年度中）
- (4)隊員の処遇・対応（手当）
- (5)当局の評価

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	副 市 長 関 係 局 長	教 育 長
12	大 園 盛 仁	にじとみどり		

発言の要旨

- 1 特別職報酬等審議会と企業管理者の給与の在り方と課題に関して
 - (1) 企業管理者の現在の給与額決定時期や期末手当改定の方法とこれを記した文書の所在
 - (2) 現在の特別職報酬額の決定時期
 - (3) これまでの特別職報酬等審議会の開催回数
 - (4) 基本的な報酬・給与改定の推移（過去 30 年）
 - (5) 前回の特別職報酬等審議会での主な意見
 - (6) 国の指定職職員に準じて本市の特別職の期末手当の支給割合を改定する根拠規定
 - (7) 特別職報酬等審議会は、企業管理者を含め職ごとに具体的な給与額の議論をすべき
 - (8) 職ごとにルールに基づき議論できるよう特別職報酬等審議会の内容、在り方について条例改正を行うべき
 - (9) 特別職の名誉職的要素を踏まえた場合、特別職の方々が誇りをもって減額を申し出るべき
 - (10) 他の本市外郭団体長の最高給与額 30 万 7 千円と比較した場合、副市長職給与 93 万 1 千円や企業管理者等の給与 81 万 3 千円は妥当か。その認識と理由
 - (11) 公選で選ばれた市長、市議会議員の報酬を除く特別職は退職手当を廃止して給与も 20%カットする必要性に対する見解

- 2 郷土の偉人に対する顕彰と課題に関して
 - (1) 維新ふるさと館と西郷南洲顕彰館の相違点と課題及び南洲公園の現状等について
 - ① 維新ふるさと館と西郷南洲顕彰館の基本的な相違点
 - ② 維新ふるさと館に学芸員は必要ないか
 - ③ 維新ふるさと館と西郷南洲顕彰館の連携状況
 - ④ 明治維新 150 年の際、記念事業に要したそれぞれの経費額と内容
 - ⑤ 維新ふるさと館と西郷南洲顕彰館の広報活動状況
 - ⑥ 顕彰館に係る令和 6 年度の予算額とその内容、増額の必要性と考え方
 - ⑦ 西郷南洲顕彰館も本市の観光に資する大事な施設との認識は
 - ⑧ 南洲公園の 3 トイレの洋式、和式の設置状況、観光地を踏まえての評価
 - ⑨ 西郷南洲翁の生誕 200 年に際して
 - ア. 維新ふるさと館リニューアルの内容と経費額、財源
 - イ. 西郷南洲顕彰館に対する対応と考え方
 - ウ. 西郷南洲翁を敬愛して成功した稲盛和夫氏を両館でパネルやチラシを用いて紹介することに対する見解
 - エ. 西郷南洲翁に関するイベント等は、両館が歩調を合わせて行うべき
 - (2) 稲盛和夫氏に対する顕彰活動について
 - ① 同氏の遺徳・偉業をたたえ、後世に伝えていくことを庁内で検討するとして当局答弁後の経過と方針
 - ② 同氏の顕彰活動を他都市で行っている事例
 - ③ 同氏の経営哲学や経営者の育成、社会への貢献、利他の心等は後世に顕彰していくべき、その方法と考え方

3 農業振興と農村における環境整備の現状と課題に関して

- (1) 令和5年と比較して昨年の本市における米の生産状況
- (2) 農業振興地域と農用地区域の相違、地域でこの相違が理解できているものか
- (3) 各地域に農業振興地域と農用地区域の範囲を周知する必要性
- (4) 多面的機能支払交付金制度の目的と課題
- (5) 多面的機能支払交付金の推移と効果、評価（過去5年）
- (6) 地域農業の将来の在り方などを示す地域計画の数と推進についての課題
- (7) かごしまの農業未来創造支援事業における農道と農業集落道路の相違とそれぞれの整備件数（過去10年）
- (8) 市単独事業の農道整備の要望数とそのうち未着工となっている件数、要因（過去10年）
- (9) 人口減と農業の担い手が育たず集落が衰退していく現状で農業と集落の活性化を図る見通しと考え方

4 学校のタブレット端末導入による教育の現状と課題に関して

- (1) タブレット端末導入による指導方法の変化と課題
- (2) タブレット端末導入による記述力への影響の有無
- (3) 現行学習指導要領における読解力や記述力の向上に対する本市教育委員会の認識
- (4) 読解力や記述力の向上に向けた令和6年度取組に対する成果と評価
- (5) 読解力や記述力の向上に向けた今後の取組

5 バス事業の現状と在り方、交通局の課題等に関して

- (1) 当局の貸切バスの事業廃止の提案に対し市議会が否決し事業存続となったことへの評価、今後の取組と考え方
- (2) 交通局の大型自動車第二種運転免許取得支援事業の概要
- (3) 交通局の貸切バス事業の運営状況（過去10年の平均利用車両数と平均利用者数、平均経常損益額）
- (4) 貸切バスの減価償却期間と期間経過後運用できる想定可能年数
- (5) 貸切バス事業は減価償却終了後、収支は黒字を見込めるものか
- (6) 貸切バス事業存続でバス事業の収支改善に大きく寄与することが考えられるか
- (7) 将来の貸切バス購入等を考慮した場合、バス事業に大きな負担となるため、バス事業全体を見直すことに対する認識と考え方
- (8) 交通局の貸切バスに対する民間事業者のニーズ
- (9) 民間事業者に貸切バスを売却譲渡して資産を整理する必要性と認識、考え方
- (10) 赤字経営の中で企業管理者に高額な給与と退職金の支払いを続けることの整合性と現状への評価、考え方
- (11) 高齢化と人口減、運転手不足の中で路線バス利用者減を踏まえた今後の本市におけるバス事業の展望と対策

6 鹿児島市消防団の現状と課題に関して

- (1) 消防団の目的と年間の経費額、財源、報酬改定の現状
- (2) 消防団の定数と直近の充足率、団員の平均年齢
- (3) 日頃からの団員募集の取組と団員数増減の傾向
- (4) 地域行事に対する消防分団の協力の現状と評価
- (5) 消防分団と地域が一体となったあるべき活動への今後の取組と考え方

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
13	平 山 哲	自 民 党 市 議 団		

発言の要旨

<p>1 錦江湾横断道路建設構想について</p> <p>(1) 県の可能性調査で示された産業、経済、救急医療、災害対応などへの効果等に対する見解</p> <p>(2) 鹿屋市や垂水市の錦江湾横断道路への取組に対する見解</p> <p>(3) 本州四国連絡橋3ルート of 経済効果及び災害対策・物流・観光面での効果</p> <p>(4) 完成した場合に市長が期待すること</p> <p>2 自衛隊活動について</p> <p>(1) 本市防災における自衛隊との関わりの現状と今後の取組</p> <p>(2) 市民等との各種交流の現状と今後の取組</p> <p>(3) 全国における陸上・海上・航空自衛隊音楽隊の活動状況</p> <p>(4) 本市での各音楽隊の活動状況と今後の取組</p> <p>(5) 本市での航空自衛隊音楽隊の演奏会実施への取組</p> <p>(6) 市長は航空自衛隊音楽隊の演奏を聴いたことがあるか、あればその感想</p> <p>3 持続可能な観光地づくりについて</p> <p>(1) 鹿児島市が観光に注力する背景</p> <p>(2) 世界を魅了する稼ぐ観光の実現に向けての取組</p> <p>(3) 持続可能な観光地づくりに向けた課題</p> <p>(4) 新たな観光財源の事例</p> <p>(5) 宿泊税の概要と全国における導入状況・検討状況</p> <p>(6) 宿泊税導入に伴う宿泊事業者への影響</p> <p>(7) 全国の導入自治体における宿泊税の活用状況</p> <p>(8) 本市におけるオーバーツーリズム対策</p> <p>(9) 本市における宿泊税の検討状況と令和7年度の取組</p> <p>4 健康福祉対策について</p> <p>(1) 地域福祉館の利用状況（令和5年度利用者数の上位3館の利用者数と主な利用内容）</p> <p>(2) 上町福祉館の今後の新築・改築の考え</p> <p>(3) 隣保館の利用状況（5年度の2館の合計と主な目的別の内訳）</p> <p>(4) 民生委員・児童委員について</p> <p>① 主な相談・支援状況・総数</p> <p>② 年間訪問回数と活動日数</p> <p>③ 一斉改選に向けた定数の理由と課題</p> <p>④ 今回75歳に達する民生委員・児童委員数及び定年延長の考え</p> <p>(5) 敬老パス交付事業の対象者数・交付実績・利用状況</p> <p>(6) すこやか入浴事業の対象者数・利用状況・36回利用とする考え</p>
--

5 教育行政について

(1) 児童生徒の自殺対策（文部科学省）について

- ① 全国における過去5年間の自殺者数と傾向
- ② 文部科学省の自殺対策への取組と自殺予防教育の内容

(2) いじめや不登校、問題行動等に対する本市の取組について

- ① いじめの重大事態の報告件数（過去3年間）
- ② 学校にほとんど登校できていない（出席日数10日以下）児童生徒数（過去3年間、小中学校別）
- ③ 児童生徒が悩みや不安を相談できる相談員等の配置状況（職種及び人数）
- ④ 各種相談員等への相談件数（過去3年間、職種別）
- ⑤ 相談員や相談窓口の周知方法
- ⑥ 児童生徒の悩みや不安を早期発見するための取組
- ⑦ いじめや不登校、問題行動等を未然に防ぐための取組
- ⑧ 組織整備を踏まえてのいじめや不登校等対策への教育長の思い
- ⑨ 名山小学校の集団登校の取組状況と効果

6 みなと大通り公園について

(1) みなと大通り公園整備事業の概要

- (2) 横断防止用の鎖の廃止と植栽
- (3) 植樹されているケヤキの維持管理状況
- (4) 年間利用状況
- (5) イルミネーション点灯について

- ① 点灯状況
- ② 市民等の利用状況
- ③ 1か月間延長した場合の経費
- ④ 1か月間延長を検討すべきと思うが、考え

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
14	向 江 か ほ り	立 憲 社 民		

発言の要旨

<p>1 はたちの集いについて</p> <p>(1)会場選定において何を重要視したか</p> <p>(2)式典に参加してもらうための対策（本市側、実行委員会）</p> <p>(3)収容人数と対象者数（令和7年度、8年度）</p> <p>(4)開始時刻</p> <p>(5)メインの会場はどこか</p> <p>(6)はたちの集いの実行委員会にスポンサーという形で、商店街に協賛を持ちかけてはどうか</p> <p>(7)式典の開始時刻の考え方の変更に対する見解</p> <p>2 高齢者福祉バス運行事業について</p> <p>(1)拡充等の内容（台数、利用の流れ）</p> <p>(2)今後期待される効果</p> <p>(3)残り2台に対する今後の考え</p> <p>(4)貸切バス借り上げ料の一部助成について</p> <p>①補助金額の根拠</p> <p>②交通局の貸切バスも対象か、また、民間との両立の考え</p> <p>③利用控えの影響は</p> <p>④助成金の支払い先を業者にできないか</p> <p>(5)今後、利用する市民にもアンケート調査等を行い、広く意見聴収すべき、当局の見解</p> <p>3 地震時の退避場所の指定取消しについて</p> <p>(1)現在の指定退避場所数と指定取消しを行った場所の数</p> <p>(2)レッドゾーンにかかる退避場所は安全か、その根拠</p> <p>(3)国の手引きの内容を市民は把握しているか、認識</p> <p>(4)実際にその地域に住んでいる住民の方々から意見集約は行ったのか</p> <p>(5)早期の代替退避場所の指定を行い、地域への周知徹底を図るべき、見解</p> <p>4 本庁内の電話の保留音について</p> <p>(1)現在の保留音</p> <p>(2)保留音の考え方と変更の可否</p> <p>(3)市民の問合せが一番多い部署</p> <p>(4)市民歌などの市を象徴する曲を使用している他都市の状況</p> <p>(5)保留時間の長さで市民から苦情や途中で電話が切れてしまうなどのトラブルの有無</p> <p>(6)変更してはどうか、見解</p>

5 庁舎内広告導入事業について

- (1) 本庁舎の広告掲示についての掲載基準
- (2) 現在募集している掲載箇所数及び充足率
- (3) 広告掲載料の1か所当たりの額と全体の年間収入額
- (4) 行かなくてもいい市役所と広告掲載のメリットとの整合性について市長の見解

6 大型自動車第二種運転免許取得支援事業について

- (1) 事業の狙い
- (2) 予算の内訳と人数
- (3) 事業の対象者と要件
- (4) 免許取得までの流れと期間
- (5) 市内にある大型二種の教習ができる自動車学校数
- (6) 免許取得から実際に働けるまでの流れと期間
- (7) バスの運転士として実際に働けるまでに従事させる業務
- (8) 免許取得を優先させるべき

7 坂元日枝神社線について

- (1) 朝の混雑時における課題に対する認識
- (2) 新年度における計画
- (3) 早期の着工をすべき、見解

8 東坂元4丁目の辻ヶ丘団地バス停付近の交差点について

- (1) 現在の進捗状況
- (2) 信号機設置に向けた交差点改良の結果
- (3) 停留所の集約に向けた協議等について
 - ① 関係機関との協議内容
 - ② 入札状況
 - ③ 新年度のスケジュール

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	教 育 長
15	大 原 葉	無 所 属	関 係 局 長	

発言の要旨

<p>1 「時代の潮流」、「世界の潮流」についての市長の認識について</p> <p>(1) 欧米の政権交代の背景</p> <p>(2) アメリカの政策転換が世界や日本、私たちの生活に今後及ぼす影響</p> <p>2 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(1) 定期接種の現状について</p> <p>① 接種者数及び接種割合</p> <p>② 定期接種開始時点の見込み数</p> <p>③ 見込み数に対する接種割合とその要因</p> <p>④ 令和6年度の決算見込額</p> <p>(2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業に使われた税金（2～5年度の推移）</p> <p>(3) 厚生労働省の新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会における審査結果について</p> <p>① 全国の申請受理件数（全数・うち死亡数）</p> <p>② 全国の認定件数（全数・うち死亡数）</p> <p>③ 本市の申請受理件数（全数・うち死亡数）</p> <p>④ 本市の認定件数（全数・うち死亡数）</p> <p>(4) 新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害を受けられた方に対する市長の思い</p> <p>3 HPVワクチン接種について</p> <p>(1) HPVワクチン接種の現在に至る経緯</p> <p>(2) 本市のHPVワクチン接種について</p> <p>① 令和6年度当初の接種見込数と実際の接種件数（定期接種・キャッチアップ接種）</p> <p>② 6年度当初の接種見込みに対する接種割合とその要因（定期接種・キャッチアップ接種）</p> <p>③ 6年度の決算見込額</p> <p>(3) 副反応について</p> <p>① 症状</p> <p>② 本市の副反応疑い報告数</p> <p>(4) 本市の相談窓口</p> <p>4 帯状疱疹ワクチン接種について</p> <p>(1) 定期接種に至った経緯</p> <p>(2) 本接種に係る令和7年度の事業費とその概要</p>
--

15	大原葉	無	所	属
----	-----	---	---	---

<p>5 (仮称) かがしま郡山風力発電事業計画について</p> <p>(1) 現在の進捗状況と今後の見通し</p> <p>(2) 景観資源の定義及び定義に当てはまる本市の景観資源</p> <p>(3) 本事業地域の保安林の種類とその役割</p> <p>(4) 住民説明は十分になされたかの認識</p> <p>(5) 本市の本事業への関わり方のスタンス</p> <p>6 選択的夫婦別氏 (いわゆる夫婦別姓) 制度について</p> <p>(1) 選択的夫婦別氏制度とは</p> <p>(2) 選択的夫婦別氏制度検討の背景</p> <p>(3) 令和3年に内閣府が実施した「家族の法制に関する世論調査」の結果の概要</p> <p>(4) 本制度導入に対する賛成と反対の主な意見</p> <p>(5) 旧姓の通称使用や旧姓併記が可能なもの</p> <p>7 平和都市宣言 35 周年・戦後 80 年記念事業について</p> <p>(1) 事業の目的</p> <p>(2) 事業の概要と予算</p> <p>(3) 鹿児島大空襲を語り継ぐ本市の取組</p> <p>(4) 本市の小中学校における平和学習と鹿児島大空襲の取扱い</p> <p>8 第2期G I G Aスクール構想について</p> <p>(1) 1人1台タブレット端末の利用状況・具体例</p> <p>(2) 1人1台タブレット端末を取り入れた学習の成果と課題</p> <p>(3) 学校におけるデジタル化の整備状況</p> <p>(4) 学習者用デジタル教科書の概要と導入状況</p> <p>(5) タブレット端末更新の予算と内訳</p>
